

一般質問（個人質問） 通告書

受付	月	日
午後	時	分

平成27年 3月 2日

笠岡市議会 議長 殿

笠岡市議会議員 樋之津 倫子 ㊟

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨 (なるべく具体的に記入してください。)	答弁を 求める者
<p>1 子どもたちに安心の未来と心通う市政を求めて</p>	<p>生活保護費の大幅削減、物価の高騰、実質賃金の減少、非正規雇用の拡大、消費税の値上げ等々 どれ一つとっても、国民には負担増、暮らし破壊という悪影響しかもたらしていません。一番の被害は子供や若者たちです。</p> <p>子供の貧困率は2013年16%を越えました。特に母子家庭においては50%を超えています。しかも連鎖的に起こる社会問題として近年マスコミでも取り上げられているものです。</p> <p>不登校、就職難、不安定雇用、家庭環境によって進学をあきらめたり、引きこもったりなどの困難を抱える子供や若者も増えています。</p> <p>子供たちに安心の未来と心通う市政を求めて以下お尋ねします。</p> <p>① 岡山県・笠岡市の子供の貧困率を問う</p> <p>② 平成21年に「子ども・若者支援推進法」が成立し、翌年そのための協議会設置運用指針が決定されています。笠岡市の姿勢・具体的対応策についてお伺いします。</p>	<p>市長</p>
<p>2 子供たちに行き届いた教育をすすめるために</p>	<p>文科省は、公立小中学校の統廃合の促進を「手引き」にまとめ、各自治体に通知します。背景には教育予算の大幅な削減があります。標準規模に統一すれば、全国5462校、教職員も大幅に削減できると試算しています。笠岡市の「学校規模適正化」方針は、その先取りとも言えます。</p> <p>また文科省は、小中学校の「道徳」を「特別の教科」道徳科にするため、学習指導要領を改定する案を発表しました。教科は評価しなければなりません。国の定めた観点を押し付けることになり、重大な問題を含むこととなります。以下お尋ねします。</p> <p>1 まず小中学校の統廃合問題について、</p> <p>①地元関係者との話し合いはどうか、又</p>	<p>教育長</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨 (なるべく具体的に記入してください。)	答 弁 を 求 め る 者
	<p>市として到達点をどうとらえているのか尋ねます。</p> <p>② 多くの市民が「もう決まったことだから」という感じを持たざるを得ないような説明になってはいないか危惧するところですが、いかがですか?</p> <p>2 道徳の教科化について</p> <p>① 道徳が教科としてなじまないと思いますが、教育長の見解をお尋ねします。</p> <p>② 何よりも教育基本法、憲法に即したものでなければならぬと思いますが、教育長の見解をお尋ねします。</p>	